



第24回農業大学校海外研修



研修1日目。UCデービスのブックストア前で。暖かい日差しが迎えてくれた。

カリフォルニア大学デービス校での海外農業研修が今年も9月3日から10日までの8日間、学生46名、職員3名が参加して行われました。3日朝5時にバスで農大を出発。サンフランシスコで食事、デービス校に到着したのは、出発してからちょうど24時間後。少し(かなり?)疲れがみえ始めた私たちを、カリフォルニアの明るい日差しと長年に渡ってこの研修を支えてくださっているコーキー先生はじめ現地スタッフのみなさんに温かく迎えていただきました。

デービスでの研修は、全体講義からはじまり、その後は「農産・花き」、「野菜・果樹」及び「畜産」の3グループに分かれて、デービス周辺の生産農場や加工工場、マーケット等を視察しました。講義でも現場視察でも学生には説明者に対する質問が求められます。特に、農大生は大人しい、と思われているようでしたが、今回は到着直後のオリエンテーションでいきなり質問をした学生がいて、初日に質問が出たのは24回目にして初めてのことでコーキー先生も驚いた様子でした。研修でも沢山の質問が出され今年の学生は活発だとの評価をいただきました。

最終日に泊ったサンフランシスコでは、夜、ホテル近くで発砲事件が発生(銃声が聞こえた)。日本とは違うことを学生たちは身をもって感じていました。他にも様々な文化の違いを経験することができ、貴重な8日間を過ごすことができました。



コーキー先生、通訳のみなさん、大学院生、添乗員さんと多くの人にお世話になりました。来年は25回目となる記念すべき年です。多くの学生が参加することを願っています。

海外農業研修

海外農業研修にて

農産経営科 E. H

9月3日から9月10日までの約一週間アメリカのサンフランシスコ及びカリフォルニアで農業研修を行ってきました。

行き帰りの飛行機の中は思いのほか窮屈で寒いものでしたが、窓から見える景色は最高の眺めでした。現地入りして一日目はサンフランシスコ市内を観光しました。日本と異なる景観に見入ってしまい、移動中はガイドの人の話など耳に入らず景色ばかり見ていました。

研修及び宿泊先のデイビス校にチェックインしてからは日程が詰まった研修続きでした。毎日一時間以上のバス移動に加え、乾燥した暑さの中での研修は慣れていなかったため、とても厳しいものでしたが、それ以上に学んだことは多く、日本では見たり聞いたりできない価値のあるものでした。

海外農業研修では日本から出て初めて見たり聞いたりする事が数多くありました。現地の人達と触れ合う機会や本物の英語が体験できる良い機会になりとても良い研修が出来て良かったです。



デービス校での一枚



機内からパチリ



通訳のジョンさん

日本とアメリカにおける経営の特徴

野菜経営科 K. T

今回の海外研修では、アメリカの農業について深く学ぶ良い機会となりました。

アメリカの野菜は多くの種類や品種があり、大きさや色、形など様々で、日本では見たことがない野菜を知ることができました。また、食味や外観の品種改良だけでなく、ソースの原料となる加工トマトの大規模栽培とその機械収穫など、生産効率向上のために品種改良が実用化されている畑も見ることができました。

また、研修先の農家は皆独自に販売ルートを開拓し、小売店やレストランとの契約栽培や、個人の消費者への直接販売、自宅での直売所開設などを行っていました。消費者のニーズを知り、求められるものを作り、顧客を確保して経営の安定化を図るのは万国共通のようですが、アメリカの農家の方が積極的に取り組んでいると感じました。

今まで日本の農業について学んできて、これが当たり前だと思っていましたが、今回の海外研修で農業の多様性について学び、農業はまだ発展させることのできる産業なのだと実感しました。私たちは卒業後、職種は違っても農業に関わる仕事に就くと思います。それぞれが海外研修で学んできたことを生かし、より良いものにすることができるよう頑張りたいです。



野菜・果物の巨大予冷庫で記念撮影



レイニーズ(青果物量販店)の配送センター



見渡す限りの加工用トマト畑



米国で感じたこと

肉畜経営科 K. O

海外研修で訪れたカリフォルニア州は、地中海性気候でほとんど雨が降らないため、地下水による灌漑を利用した農業が行われていた。また、一戸の農家の耕地面積が広大だ。本州では10haもやっていたら大きい方なのだが、アメリカではその数十倍の耕地面積だった。そのための栽培品種も多く5品目を栽培するのが普通だそうだ。

肉用牛は、日本のように牛舎で飼育されるのではなく、フィードロットといわれる施設に群で飼われ牛舎には入らない。飼養規模が数百頭規模なので牛舎を建てない農家もあった。研修農家ではカリフォルニアは畜産が大変な場所だといった話を聞いた。それは、牧場を作った後に近くに民家が次々と建てられ、家畜の悪臭やハエ等の問題で訴訟を起こされてしまうからだそうだ。

今回の研修で思ったのは、日本でこのスタイルの農業をするのは、耕地利用面積の違いや、日本人の嗜好に合った農畜産物の生産が難しいと思われ不可能だと感じた。各地域の条件に合った農業があり、それを行うのがベストだと思った。



デービス校でのオリエンテーション



日本では見られないシャロレー種の種牛



交流会の時には、サプライズで誕生日祝いをしてもらいました

緑の学園(農大オープンキャンパス2012)を開催しました

県内外の高校生を対象に、7月30日～31日の1泊2日コースと8月1日の1日コースで、緑の学園(農大オープンキャンパス2012)を開催しました。1泊2日コースには、21校から男子27名、女子7名の計34名の高校3年生が、1日コースには18校から男子20名、女子8名の2～3年生計28名が参加しました。

開講式で千葉校長からの歓迎の挨拶に続き、本校の教育概要を説明し、実習施設やほ場、学生寮、食堂を見学した後、各自が希望するコースに分かれて農業体験を行いました。

農産コースは稲の幼穂観察と米の食味官能試験、野菜コースは夏野菜の収穫体験と糖度測定、果樹コースはブルーベリーの収穫体験とジャムづくり、花きコースは切花の収穫・調製、鉢花の挿し芽、畜産コースは牛生殖器の解剖と凍結精液の融解などを体験しました。また、在校生から現在取り組んでいる卒業研究についても説明が行われ、高校生は熱心に聞き入っていました。

さらに、在校生との交流会が行われ、授業や実習、寮生活の様子などの説明を受けて質問するなど、楽しく有意義な時間を過ごしました。

参加した3年生の8割以上は本校への進学を希望しており、緑の学園での体験を通じて、本校の教育内容に理解を深め、進学意欲が高まったようです。

農業体験



交流会



農家派遣実習を実施しました

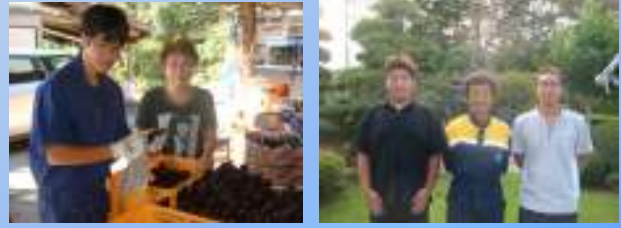
先進農家の経営活動や農家生活を体験することをねらいに、本科1年69名が野菜・花き・果樹経営科は9月18日～10月2日まで、農産・酪農・肉畜経営科は9月21日～10月5日までの15日間の研修を実施しました。

学生を受け入れご指導いただきました農家の皆様、大変ありがとうございました。

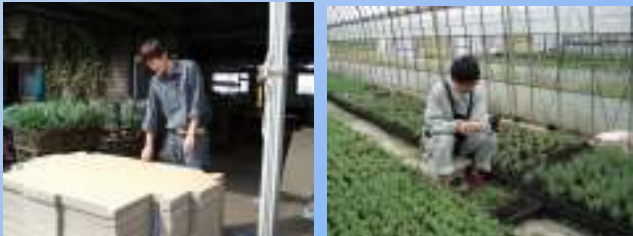
農産経営科



野菜経営科



花き経営科



果樹経営科



酪農経営科



肉畜経営科



更に充実！6年目の「農大産直」

「農大産直」は、平成19年度に始まり、今年度で6年目を迎えました。今では販売開始前に行列ができるほど、地元の方々に支えられ、定着してきました。

今年度は、利便性等を考慮して、開設場所を「花の館」に移し、これまで7月12日、8月11日、9月13日の3回開設しました。

1年生は、これまで対面販売の経験がない学生が大半です。毎回、販売開始と同時にお客様がどっと押し寄せ、一斉に買い求めます。初めて対応した学生達は、戸惑いながらも自分たちで育てた野菜や果物、花が「こんなに売れるんだ」ということを肌で感じました。回を重ねる毎にその気持ちが強くなっているようです。お客様からの問い合わせに誠意を持って答えたり、労いの言葉をかけられて素直に喜んだりしながら、学生が成長していく様子は、我々職員から見ても頼もしく感じられます。

今年度も11月15日に最後の1回を残すのみとなりました。是非足を運んでいただき、学生達が丹念に育てたおいしい食材、そして美しい花で、収穫の秋を満喫していただきたいと思います。



農大祭開催のお知らせ

今年の農大祭は、「農大 雄大 無限大！！」をテーマに開催します。

★開催日 10月27日(土) 10:00~15:00
10月28日(日) 9:30~15:00

★会場 岩手県立農業大学校キャンパス内

★主なステージイベント

27日(土)	花巻農業高校による鹿踊り	11:00
	二日町太鼓による太鼓演奏	12:00
	六原幼稚園児によるお遊戯	13:00
	もちまき大会	14:00
28日(日)	六原鬼剣舞	10:30
	みちのく祭り太鼓	11:30
	水沢農業高校による郷土芸能	13:00
	もちまき大会	14:00

★各経営科による学習展示

★農産物の販売や軽食類

～ 皆様のご来場をお待ちしております ～



当面の予定 = 11月から1月まで =

11月22日	農業創造シンポジウム
11月28日	学生自治会総会
12月3日	科別卒業研究発表会(農産・野菜)
12月4日	科別卒業研究発表会(果樹・花き)
12月5日	科別卒業研究発表会(研究)
12月6日	科別卒業研究発表会(酪農・肉畜)
12月13日	本科一般入学試験(前期)
12月20日	卒業研究成果全体発表会
12月21日	全校ガイダンス・環境整備
12月22日~1月6日	冬期休業
1月21日~22日	
1月25日	東日本プロジェクト発表会・交換大会 研究科入学試験